

『自らの生き方を創る子どもの育成』～1人ひとりの個性を生かす教育の推進～



No.8 2026. 6. 11 校長 川上 誠治

バッドサイクルを グッドサイクルに！！

いつもありがとうございます。

感謝しています。



バッドサイクルとグッドサイクルがあります。

下の図がバッドサイクルです。

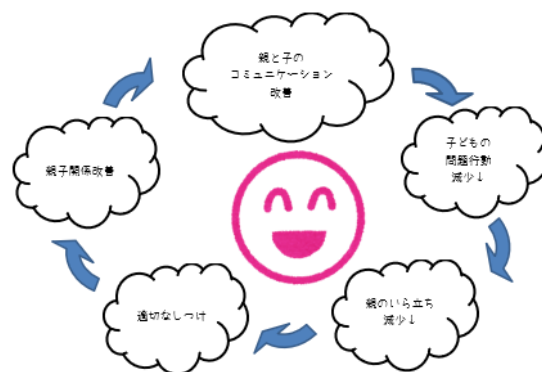


一度バッドサイクルに陥ってしまうと、そこから抜け出すのはむずかしくなります。親子関係が悪くなり、それだけ親の愛情が伝わりにくくなるからです。親と子のコミュニケーションが悪くなると、親の言うことがうまく子どもに伝わりにくくなります。そうすると子どもは親が何を求めているかがわからなくなり、その結果、子どもの問題行動は増加してしまいます。そして、この状況は親のいら立ちを強めてしまうので、イライラから罰を伴うしつけを生み出しや

すくなります。そしてここで使われた罰は親子関係にダメージを与え、この親子関係のダメージが親と子どものコミュニケーションの不良を生み出すというバッドサイクルを作ってしまうのです。

バッドサイクルに陥ると、親は子どもをかわいいと思うのがむずかしくなるようです。また、子どもは親を怖い存在だと感じるようになります。そして、この親子関係が子どもに与えてしまうのは、『自分はだめな子だ』という劣等感になります。

この親子関係のバッドサイクルからうまく抜け出し、親子関係にグッドサイクルを作る方法をこれから紹介していきますね。



親と子のコミュニケーションを改善することで子どもの問題行動を減少させます。すると親のいら立ちが減少し、適切なしつけができるようになります。そうすることで親子関係を改善していく方法です。

